

今後の舞台芸術創造活動への支援方策について(提言) ～ 21世紀の日本の心を育むために～

文化審議会文化政策部会

国による支援の意義】

舞台芸術創造活動は人と人のつながりを深め、コミュニティの形成に寄与

文化芸術と経済は社会の二極を構成するものであり、経済のみならず、文化芸術を振興することによって、社会の活性化に寄与

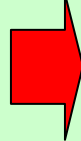
舞台芸術創造活動を通じた国際貢献の必要性

支援の在り方について】

支援の基本的在り方

- 重点的支援と幅広く多様な支援をバランスよくメリハリをつけて
- 中長期的な観点からの支援
- 東京中心の視点から地域重視の視点へ
- 人材育成などの基盤形成への支援の充実
- 鑑賞者の意向も将来の創造活動に反映していく取組を促進
- 子ども達が教育の中において文化芸術活動に触れる機会の充実

具体的には



今後の具体的支援策の方向性

創造活動への支援

- 国としての支援目的の明確化
- 多様な創造活動の実態をふまえた支援対象事業の改善
- 各舞台芸術分野の特性に応じた支援
- 資金の早期交付
- 地域の特色ある芸術拠点の形成

基盤形成への支援

- 若手、舞台スタッフ、指導者等の人材育成策
- 評論家、メディアの交流を通じた地域の文化力の発信
- 芸術団体のマネジメント機能の強化
- 国、地域、民間の三者による支援の連携

評価の在り方について】

○団体の自己評価と情報公開の促進。

○評価の透明性と公開性の確保。

○支援体制、評価方法の見直し。

○事後評価を行い、次年度以降の選定に反映。